



院長 稲波 弘彦

いななみ・ひろひこ ● 東京大学医学部医学科卒業後、同大学医学部整形外科学教室入局。都立墨東病院、三井記念病院、虎の門病院等に出向。1990年より岩井整形外科内科病院院長に就任。日本整形外科学会認定整形外科専門医

●内視鏡下手術

脊椎手術件数(2013年4月~14年3月)

PLDD(経皮的レーザー椎間板減圧術)	23
enSpire(経皮的椎間板粉碎・切除術)	8
●MED(内視鏡下腰椎椎間板摘出術)	630
●MECD(内視鏡下頸椎椎間板摘出術)	1
●PELD(経皮的内視鏡下腰椎椎間板摘出術)	16
●MEL(内視鏡下腰椎椎弓切除術)	232
●MECL(内視鏡下頸椎椎弓切除術)	57
PF+PN(経皮的ラジオ波椎間板焼却・摘出術)	4
脊椎側彎症手術	8
●ME-PLIF/TLIF(内視鏡下腰椎椎体固定術)	203
●X-LIF(内視鏡下腰椎側方椎体固定術)	45
その他(脊椎)	52
合計	1279



椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の疾患に関する患者さんの状態の評価及び治療成績のデータベースを構築している。国際的に用いられる13の評価基準に基づいて行われ、学術的にも価値のある集計となっている

診療科目： 整形外科、リウマチ科、放射線科、  
麻酔科(村上優子)、リハビリテーション科、内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科

受付時間： 8:30~11:00/13:00~16:30

休診日： 土午後・日・祝

〒133-0056

東京都江戸川区南小岩 8-17-2

TEL.03-5694-6211 FAX.03-5694-6663

http://www.iwai.com/

自由診療：PLDDは約40万円、enSpireは約65万円

内視鏡を用いた  
豊富な低侵襲手術

厚生労働省の公表によれば、岩井整形外科内科病院は内視鏡下椎間板摘出術(椎間板ヘルニア)、並びに内視鏡下椎弓摘出術(脊柱管狭窄症)の患者数が全国で最も多いという(平成22年度DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価)。

稲波弘彦院長は、「疾患について十分な見識を持つ医師  
自らが治療を受けるとき、どういう治療を求めるだろうかと常に考えます」と話す。目標とする水準は非常に高く、その実現には一つひとつの豊富な手術手技、そして種類の豊富さが不可欠だという。

達すると、同系統の別の手技を習得しやすくなり、その繰り返しで選択肢を増やすことができる。同院が実施するMED、MECD、MEL、MECL、MEPLIF/TLIFは共通の機器を用いた同系統の手術手技である。MEDは内視鏡を用いた腰椎椎間板ヘルニアの手術で、手技能力の向上によって手術時間は20~30分まで短縮している。傷痕は18mm程度と小さく、術後の早期回復、痛み

の軽減、感染や合併症の抑制を期待できる。背骨の筋肉を傷なうことが少ないという特徴もある。MEPLIF/TLIFでは腰椎すべり症、腰椎椎間板変性症などに対して椎体骨の固定を行う。固定術は従来、背中を大きく切開して背筋を多く剥離する侵襲の大きな手術であったが、内視鏡を用いる同術であれば傷痕も目立ちにくく、術後の早期回復、痛みの軽減が期待できる。

同院では、患者の術後成績を診療に役立てるため、大規模な患者データベースを構築している。既に年間(2013年1月~12月)900名以上の患者に対し、手術前から手術後6カ月、12カ月、24カ月、その後も数年間の各段階における種々の成績評価用アンケートと理学所見、画像データが集積されている。良い結果だけでなく、悪い成績も含め適切に把握することで今後の診療に役立てている。

取材/斉藤雅幸

医療法人財団 岩井医療財団 岩井整形外科内科病院  
内視鏡による豊富な低侵襲手術で  
患者の多様な価値観に応える

2015年7月、品川シーサイドに開院予定の新病院

